

単元名 **どんな計算になるのかな**配当時間 **1 時間**

単元の目標 (1) 乗除計算の意味を理解し，場面に即して適切に乗除の演算決定をすることができる。
 (2) 乗除計算の意味を基に演算決定し，その根拠を言葉や図などを用いて考え，説明することができる。
 (3) 進んで問題に取り組み，何算になるかを判断しようとする。

標準的な展開例

03040111_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 乗法，除法の適用問題に取り組む。[p.92・p.93] ○教科書の挿絵を見て，子どもたちの様子について話し合う。 ○30個のトマトを6人に同じ数ずつ分ける問題を読み，式を立てる。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★どんな計算になるかを考えて，問題をとこう。 ○ウインナーが6本ずつ4列に並んでいる場合の個数を求める問題に取り組む。 ○36個のマシュマロを1人に4個ずつ分ける問題に取り組む。	・乗法か除法か判断させてから問題に取り組ませる。 ・キャンプの場面を取り扱うことにより，問題場面に興味・関心をもたせる。 ・既習事項から除法で求めることに気付かせる。 ・自分の言葉で説明できるようにさせる。 ・初めの問題と同じように式の意味を説明させ全員で話し合わせる。 ・何を求めるかを考えさせ，乗法か除法かを判断させる。 【評】必要な情報から式を立て，その式でよい理由を説明する活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本単元では，問題の場面を的確にとらえ，どの演算を適用すればよいか児童自身に考えさせる学習である。既に第2学年でも問題の内容に合わせて演算(加法・減法)を決定する学習を経験している。しかし，この時は立式をし，次いで解くという流れだった。そこで，第3学年では演算を考えさせた後，演算の決定理由を説明させたり，話し合ったりする場を設定することが必要である。